

東京大学低温センター 低温センター・ニュース

<http://www.crc.u-tokyo.ac.jp> TEL. 2851,2852(事務室), 2853(技官室)

○センター長交代のお知らせ

昨年の運営委員会で工学系研究科の内田慎一教授が新しく低温センター長に選出されました。任期は平成11年1月1日から2年間です。

ご挨拶

25年前、大学院の5年間をこの低温センターで過ごしました。現在に比べると、どこの研究室も貧しく、液体ヘリウムは貴重品でした。どの学生も、ヘリウムを一滴残さず使い切って実験を終了すべしという指導を受けていたため、実験は当然のことながら徹夜になります。その上、デュワー瓶等のヘリウム容器の手入れやクライオスタートの熱流入対策もゆき届いていなかったため、前日に汲んだヘリウムが翌朝までもってしまうのです。ヘリウムが無くなって実験が終了すると同時に、その日の活動が始まってしまう。このような実験の日々を送っておいりましたので、睡眠をとらない日が年に50日を越えてしまいました。私のこれまでの人生においては、当時の200日余りの睡眠が欠損していることになります。

20年振りに戻り、低温センターのむき出しのコンクリート床を踏みしめたとき、この200日分の睡眠の「貸し」を思い出しました。幸い、センター長室は、陽当たりの良い南向きです。これから2年間、貸しを回収できるよう努力したいと思います。

平成11年1月18日

低温センター長 内田慎一

○共同利用部門からのお知らせ

1. 共同利用研究室の貸出について

平成11年度(1999年度)の共同利用研究室の利用申し込みを受け付けます。利用希望者は、共同利用研究室利用内規を参照の上、2月末日までに必要書類を提出して下さい。

2. 共同利用装置の利用について

平成11年度(1999年度)の上半期(4月～9月)の低温センター内共同利用研究装置の利用申し込みを受け付けます。利用希望者は、共同利用研究装置利用内規を参照の上、2月末日までに必要書類を提出して下さい。

3. 注意事項

書類は、共同利用部門にありますので希望者は、連絡して下さい。原則として、締め切り後の申し込みは受け付けませんので、希望者は忘れずに申し込みを行って下さい。

4. 連絡先

低温センター 共同利用部門
担当 佐藤(信)、土屋
内線2854

○液体窒素の容器は正しく登録されていますか

既に登録されている容器の内容(学科名、研究室名等)に変更又は容器の譲渡、廃棄があった場合は速やかに容器の変更・廃棄手続きを行ってください。変更・廃棄の手続きは技官室(内線 2853)までお問い合わせください。